⑶　調達方法　購入等
⑷　導入予定時期　平成26年度11月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
A　臥位から立位（０°～90°）までの範囲で人体の撮影ができること。
B　永久磁石を備えていること。また、冷却装備が不要であること。
C　頭頚部・頚椎・腰椎・肩・肘・手・足関節の撮影が可能なコイルが装備されていること。
D　２D、３Dの画像再構成機能を有すること。
E　矢状、冠状、横断、斜位のスキャンが可能なこと。
F　消費電力が５kW未満であること。
G　30㎡の部屋に設置できること。
2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　平成26年６月30日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒980―8577　仙台市青葉区片平２－１－１　東北大学財務部調達課調達第一係長　菊地　　崇　電話022―217―4869
3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成26年５月15日から平成26年６月30日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成26年５月22日13時00分
⑵　開催場所　東北大学医工学研究科講義室（203号室）
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Weight Bearing Human MRI System 1 Set
⑶　Type of the procurement : Purchase
⑷　Basic requirements of the procurement :
A　Capability to rotate human subject from supine to upright position (0 degrees to 90 degrees) and to scan human body at any position between this range.
B　Equipped with optimized permanent magnet and requires no cooling system orcryogen.
C　Equipped with coils optimized for scanning musculoskeletal system of head and neck cervical spine, lumber spine, shoulder, elbow, wrist and ankle joints.
D　Software that supports 2D and 3D imaging of the scanned MR data.
E　Software that supports saggital, coronal, cross-sectional and oblique imaging.
F　Power consumption less than 5 kW.
G　Space requirement of less than 30 ㎡ for installation.
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　30 June, 2014
⑹　Contact point for the notice : Takashi Kikuchi, Procurement Services Office, Finance Department, Tohoku University, 2―1―1 Katahira Aoba-ku Sendai-shi 980―8577 Japan, TEL 022―217―4869

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成 26 年５月 15 日
国立大学法人宮崎大学
契約担当役　理事　増田　宏明
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　45
○第１号
1　調達内容
⑴　品目分類番号　22
⑵　導入計画物品及び数量　感染症・検体検査システム　一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入予定時期　平成26年度９月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
①　感染症検査システム　一式
（Ｉ　自動細菌検査システム　１式）
A　自動同定・薬剤感受性検査システム
a　測定機器に使用するマイクロプレートは目視確認が可能であること。
b　測定機器を制御するためのシステムの測定結果の判定基準はＣＬＳＩ法の内容に添って判定され、そのソフトウエアは、随時無償で更新されること。
c　休日および障害時に自動同定・感受性検査システム本体で使用したプレートを判読可能なたすけ補助読み取り装置を備えていること。
B　菌液分注器　１式
a　菌液およびブロス菌液を自動的に分注するための機能を備えていること。
b　分注量誤差は±10%であること。
c　コンタミネーション防止のため、分注部分は密閉されていること。
C　嫌気培養孵卵器　１式
a　装置内で嫌気状態並びに培養温度を維持したまま検体の分離培養操作ができること。
b　チャンバー内の温度・湿度が自動制御できること。
c　270枚以上のシャーレを収納できること。
D　半自動薬剤感受性測定システム　１式
a　半自動薬剤感受性測定装置はＣＣＤカメラにて取り込まれた画像情報を解析する方法であること。
b　半自動薬剤感受性測定装置はカラー画像として撮影データを表示することが可能であること。
c　微生物感受性分析装置は外部コンピューターと接続し測定と画像解析が同時に行うことが可能であること。
d　96ピン小型接種装置の接種方法は１サイクル完了型であること。
E　抗酸菌培養検査システム　１式
a　検出原理はｐＨの影響を受け難い蛍光センサーを用い、培養チューブ内の残存酸素量をモニターしていること。
b　一台の測定装置で960本以上の同時測定ができること。
c　検体処理後、自動で培養し陽性、陰性の結果を判定可能なこと。
F　顕微鏡撮影システム　３式
a　顕微鏡撮影装置は、取り込んだ画像を引き伸ばしても鮮明になるように画像サイズは1700万画素以上の高解像度で撮像できること。また、更に解像力の高い画像を得るため３ＣＣＤモードを採用していること。
b　画像取り込み時間はカメラが有する最高画像サイズ撮影時でも４秒程度で取り込みが可能であること。
c　操作用ノートパソコンについては細菌システムと共用できること。
G　ユニバーサル冷却遠心機　１式
a　最高回転数は8,500rpm以上、最大遠心力は9,690xg以上の性能を有すること。
b　バイオハザード対策としてＵＶランプ付の安全キャビネットを取り付けること。
H　マイクロ冷却遠心機　１式
a　最高回転数は15,000rpm以上、最大遠心力は22,140xg以上の性能を有すること。
b　ＰＣＲチューブがアダプタ無しで使用可能なこと。
c　バイオハザード対策としてＵＶランプ付の安全キャビネットが取り付けられること。
I　試験管ミキサー
a　回転数は０～3,000rpmの範囲で使用可能なこと。
J　フラン器　１式
a　温度制御範囲は－10℃～＋60℃以上の幅広い温度制御が可能なこと。
b　内容量は230Ｌ以上であること。
K　低温フラン器　１式
a　温度安定性及び高湿度保持に優れた加湿方式を採用していること。
b　内容量は160Ｌ以上であること。
L　CO_2インキュベータ　１式
a　温度安定性及び高湿度保持に優れた加湿方式を採用していること。
b　内容量は160Ｌ以上であること。